

オランダのエイントホーフエンの マキシマMCで避難用具として使用

マキシマ MC

緊急対応マネージャー R.Nefs氏

最初のデモで、実際にマットレスに横たわり移動を経験すると、全員が本当に満足し、避難にはエスケーププラスを使用したいと意思表示



マキシマMC病院はオランダ エイントホーフエンの中心部2か所にある地域でトップの臨床病院です。スタッフ数は3,000名、スペシャリストは237名、ベッド数は560床ある総合病院です。緊急対応マネージャー、RNefsにお話を伺いました。

当院の看護師達は実機で簡単な体験をするまでは多少懐疑的でした。最初のデモで、実際にマットレスに横たわり移動を経験すると、全員が本当に満足し、避難にはエスケーププラスを導入して欲しいと要望がありました。幸運なことに、我々はまだこの避難用具を実際に使うことはありませんが、大きな安心になっています。

マットレスに乗って階段を下降することに躊躇していた看護師達も、実際に経験してみると、怖がっていた階段下降は思っていたよりもずっとスリルの無いもので、やっぱり下降は6フラグの遊園地の乗り物に限ると冗談を言いあったほどです。